



### 静岡県山岳連盟

〒420-8076  
 静岡市駿河区八幡3-1-17  
 TEL (FAX) 054-288-7512  
 編集発行/総務委員会  
 平成28年3月14日発行  
 第16号



高校生雪上歩行

今年度の参加者は一般の初級13名、中級4名、高校生(7校55名・顧問10名・計65名)指導者1名及び本部役員11名、講師12名の計106名であった。一日目は11時から開講式が行われた。滝田会長、静岡県教育委員会スポーツ振興課村田指導主事の挨拶の後、指導員から諸注意と担当講師の紹介があり、講習を開始した。この日は暖冬の影響か

二日目は新雪とすばらしい日の出の富士山となり、双子山付近まで新雪を踏んでの歩行訓練となった。講習内容は、高校生は雪上歩行から始まり、アイゼン歩行、ピッケル無・ピッケル使用の滑落停止の訓練を行った。中級コースは雪上でのロープの基本訓練をした。雪上での支点の取り方、確保の仕方を実践で行った。

第6回全国高校生クライミング選手権が、12月23日、24日に埼玉県の加須市民体育館で行われた。静岡県からは、男子の部で浜松日体高校の河合、原の2名、女子の部で浜松日体高校の北脇、中村、鈴木、富士宮西高校の勝本、4名が参加した。23日に行われた予選は、フラッシュ方式で男女それぞれ2本の課題が用意

された。ルートは男女ともに高グレードに設定されており、非常に厳しいものであった。そんな中、中村は安定感のある登りで11位、北脇も26位で予選を通過した。男子は惜しくも予選通過はならなかった。24日の準決勝はオンサイト方式で行われた。女子はボルダリングの要素が色濃く出るルートであつ

したが、中村は持久力のある登りで準決勝2位と大きく順位を上げ、決勝進出を決めた。北脇も突破力のある登りを見せ、決勝進出はならなかったものの、18位とこちらも順位を大きく上げた。続く決勝もオンサイト方式。静岡県からは中村1人の進出となる。女子決勝ルートはホルド間の距離が広めに設定されており、小柄な中村は序盤から苦戦を強いられた。上部にさしかかったところで、やはり身長差に泣かされ、惜しくもフォール。しかし、6位入賞となり、その実力を示した。結果、浜松日体高校が女子団体の部で3位入賞となった。

(山田紗弓)

非常に気温が高かった。53回冬山登山指導者講習会が2月6日、7日にかけて富士山御殿場口双子山周辺で実施された。

異常に気温が高かった。高校生はまずは雪上でのテントの設置を行った。その後は各班に分かれて装備の確認を行った。高校生の装備は各学校の装備のようだが、今回は昨年と違いアイゼンが外れた生徒は一名もいなく、事前に良く練習してきたようだ。

12時より閉講式を行い、講習会は終了した。2日間を通して、無事故で終わったことに感謝したい。今回は岳連加盟団体以外の方も7名ほど参加していた。岳連のホームページ等でこの講習会を知ったようだ。改めて、こういう行事のPRの大切さを感じた。また、若手の公認指導員が来年のために参加していた。今後はこういった若手の指導員を増やすことが必要だと感じた。(鈴木 修)

(清水雄三)

## 冬山の基礎を学ぶ 好天の中雪上技術の反復練習



中級ロープワーク

【指導員会】  
 ①登山の楽しみ方 1月20日に実施。19名参加。  
 ②SC指導員講習会 11月28・29日、12月5・6日に実施し12名が参加。

【海外委員会】  
 ①アジア山岳連盟が遠征隊員募集。カーリー・タウ(5千450m)に2名を推薦した。  
 ②海外トレッキングの楽しみ方講座を労政会館で2月17日に実施する。  
 ③国体委員会  
 ・第17回竜爪競技会12月13日竜爪山周辺で実施。  
 ・第9回ボルダリング競技会2月11日、プラネット静岡で開催(前川朝夫)

(TK)

### 11月常任理事会

11月24日(火) 静岡労政会館で常任理事会が開催された。

出席者は、会長他18名 滝田会長挨拶

秋山登山教室、スポーツフェスティバル、初級レスキュー等皆さんの協力で無事終了した。今後の準備を進めてほしい。なお、大井川ブロックよりフェスティバル残金、3万円の寄付があったと報告。

- ①指導員委員会
- ・AC指導員養成講習会開催 9月26日、10月3日、11月15日に北部体育館、興津生涯学習交流館で実施。あと1回講習有り。参加者 2名。
- ・初心者登山教室(座学)を9月30日に静岡労政会館で開催。参加者10名
- ・秋山登山教室10月17日、18日に実施。「紅葉の瑞牆山・金峰山に登ろう」のテーマで一般を募集。参加者5名 講師3名。
- ②国体委員会

・国体和歌山大会が10月3日、5日開催され、成女の活躍で、皇后杯6位、リード3位、ボルダ5位と非常に頑張ってくれた。  
 ・第16回高校クライミング大会を11月3日、浜松スクエアで開催。全国クライミング大会の予選を兼ねて実施。参加選手34名、うち男子2名、女子4名(推薦含む)が全国大会に出場が決まる。  
 ③遭難対策委員会  
 ・初級レスキュー研修会を11月7日、興津生涯学習交流館で開催。参加者29名。  
 ④スポーツフェスティバル開催。会場は川根本町の長島ダム周辺・南アルプス前衛山域。Aコース(七ツ峰、天狗石山)、Bコース(智者山、天狗石山)で実施。参加者は役員を含め81名。  
 ⑤自然保護委員会  
 ・第39回自然保護委員総会が9月12日、13日、福島県国立警備青少年交流の家で開催され参加(豊田)した。

み方教室(座学4) 1月20日、静岡労政会館。  
 ・雪山登山の楽しみ方教室の実技講座、2月6日富士山御殿場口太郎坊。  
 ・SC指導員養成講習会11月28、29日浜松福祉交流センター。12月5、6日浜松スクエアで開催。参加予定12名。  
 ・指導員研修会1月31日、静岡市文化会館で開催。講師打合せ1月31日、

1月25日(月) 18時30分から静岡労政会館5階会議室で常任理事会が開催された。出席者は滝田、木ノ内、前川、出利葉、豊田、堀内、松永、大石、小田、鈴木修、田中、坂田、工藤、内海、増田、諸戸、清水 計17人 会長挨拶  
 ①個人会員登録制度を始めたが、登録者は8名でもう少し欲しかった。  
 ②4月23日に総会を行う。本年度から4月開催。その関係で3月14日の次の理事会を4月11日に行う。  
 ③来年度の役員改正について、女性にも理事になってもらうことについて検討したい。

④安全登山に伴う各種事業も無事終わった。個人会員登録の実施に伴い、個人会員が参加しやすい形を考慮し、従来から実施形態を変更したが、難しい面があった。(会長からのコメントを受けて協議し、参加者数や予算・決算等を整理した上で検討会を開き、28年度の実施形態を考えていくこととなった)  
 報告事項  
 【指導員会】  
 ①登山の楽しみ方 1月20日に実施。19名参加。  
 ②SC指導員講習会 11月28・29日、12月5・6日に実施し12名が参加。

③第9回ボルダリング競技会について  
 2月11日に静岡プラネットで開催予定。県として競技力向上を図る意味でも、場合によっては小学校高学年くらいから参加させたい。  
 ④平成28年度岳連カレンダーについて  
 精算書が提示された。300部完売。ご協力ありがとうございました。  
 ⑤「山の日」の行事について  
 ・山の日の事業を県内の山岳4団体で講演会とハイキングを実施する。  
 ・平成29年8月11日(木)

(TK)

に、静岡市の「あざれあ」で講演会を実施する。  
 ・自然観察ハイクを10月16日(日)に、東部(富士山5合目付近)、中部(大日峠・井川)、西部(湖西連峰)で同時開催。その他

(TK)

### 編集後記

昨年9月、20年の東京五輪の追加種目に、スポーツクライミングをIOCに提案することが決まった。正式決定は16年8月のIOC総会だが、採用される可能性が高い。山岳関係者の長年の夢であった五輪種目採用は実に喜ばしいことだ。クライミングが市民に認知され、その地位が確固たるものとなった証でもある。岳連もジュニア選手強化や競技の魅力PRし、支えていくことが求められている。

(清水雄三)

### 小学6年

## 片木 高校生優勝

倉島さんの講評を得て無事大会を終了することができた。今後、このように幅広い層からの参加を得て、競技力向上につながる大会にしていきたい。

第9回静岡県高校ボールドリング競技大会が、2月11日(木)、静岡市のプラネットクライミングジムで11校、選手55名(男子37名、女子19名)の参加で行われた。本来は高校生の大会であるが、県の強化事業の一環の意図もあり、最年少で小学6年からの幅広い参加を得て競技が行われた。1時間20分(少し短かった)で男女共通の12課題(1級から6級)のセッション形式で行われ、上位の男子6名、女子5名の選手が決勝に進んだ(全完登は男子片桐、町田の2名、女子のオープン参加の中村)。

優勝。片木は小学6年でリードを練習すればこれからの活躍を期待できる。男子は、1級〜3級で、バルジ状のルーフ課題を唯一完登した片桐(磐田豊田中)が優勝。本年度の県内のクライミングコンテストでも優勝しており、今後の活躍が期待できる。男子の決勝でオープン参加した中村(浜松日体高)は、2完登を決め、男子決勝の中でも2位の成績で力を示した。最後にルートセットを担当していただいた、

### 新しい技術の研鑽

#### 公認指導員研修会

1月31日、静岡市民文化会館で、27年度の導員研修会が開催され、公認指導員27名が参加した。最新の登山用具や山岳レスキュー講習会の伝達研修を行い、参加者は新しい技術の習得に熱心に取り組んだ。

倉島さんの講評を得て無事大会を終了することができた。今後、このように幅広い層からの参加を得て、競技力向上につながる大会にしていきたい。

・レスキュー用具  
①アッセンダー(ユーマー)  
②プリー(滑車)  
③携帯式ロープ収納ケース  
・ペットボトルのケースを利用した収納ケースで6ミリ補助ロープ20mが収納可能  
(3)山岳レスキュー講習会の報告  
・セルフレスキューとは、その場にいる人たちが何が最善なのか、どういう方法をとるのが一番いいかを考え、いかに早く、安全確実に救出する行動をとること。  
・セルフレスキューに必要な最低限の装備  
救急医薬品・通常携行装備(地図・コンパス・ヘッドランプ・雨具・通信手段)

段・非常食 補助ロープ・スリング・カラビナ・ツェルト  
・止血 出血箇所へ直接止血すること。  
・この研修会は、公認指導員の更新時の義務研修に認定されているので、更新希望者は必ず受けるようにしてほしい。  
(前川朝夫)

その後、競技規則集に沿って、開催基準、競技種目、審判員、セッター規定等の説明を受けた。最後に日山協への要望では、岳連が審判員や競技運営員の現況が把握できないので、これらの帳簿の整備をお願いしたいと、21年国体開催の三重岳連から要望が出た。  
(木ノ内高嘉)

### 競技部東海ブロック研修会

2月28日、平成27年度の日山協競技部ブロック別研修会が愛知県岡崎城西高校で開催され、東海4県・日山協から23名の国体関係者が参加した。内容はクライミング審判員の養成講習会と競技運営員研修である。本県からは4名が競技運営員研修に参加した。

国体競技運営では、昨年の和歌山国体のビデオを視聴しながら競技会の受付から、リード・ボールド競技、表彰式に至るまでの手順説明があり、遅刻、枝番の違い、アイソに不要物、抗議は文書で、などと運営上の問題点、課題が提起された。又、ブロック大会に不参加の種別があるので、必ず全県が参加することと要請があった。

最近の日山協では競技の公正性の担保と選手健康確保のためドーピング検査が実施されている。著名な競技会では競技会検査と称し、上位入賞者に対し、尿・血液検査が実施され、禁止薬物が検出されると、記録のはく奪、出場資格停止の処分となる。指導者・選手はドーピングの十分な知識を持ち競技に参加する必要がある。

その後、競技規則集に沿って、開催基準、競技種目、審判員、セッター規定等の説明を受けた。最後に日山協への要望では、岳連が審判員や競技運営員の現況が把握できないので、これらの帳簿の整備をお願いしたいと、21年国体開催の三重岳連から要望が出た。  
(木ノ内高嘉)

### 中級山岳セルフレスキュー



平成27年度中級山岳セルフレスキュー研修会が1月23日(土)興津生涯学習交流館にて開催して、加盟団体から3名の参加がありました。午前中は、2グループに別れて講師の指導員工藤・内海両氏によるチームレスキューにて、ローラードウンレスキューの方法。ライジングレスキューの3分の1にて、引き上げ方法。



た皆様、寒い中ありがとうございました。また講師の皆様お忙しいところ、ありがとうございます。  
【参加団体】  
中速登山クラブ・藤枝山岳会 (堀内修)

### 第17回竜爪競技会

#### 雨天でコース変更し実施

竜爪山岳競技会が12月13日(日)に静岡市の竜爪山を会場に2年ぶりに実施された。昨年は重なる大雨で竜爪山の登山道が崩れたため開催以来初めて中止となったが、元々は国体山岳競技の縦走の練習会として始められた。縦走が2008年の大分国体から廃止となったが、その後も高校総体の県大会に荷重を合わせ、主に県内高校登山部員の体力を

競う大会として継続されており、今回で17回目を数える。例年、参加者が多く運営に支障が出るのを懸念し、今年は1校15人に制限し、成年男子を含め69名が参加した。大会当日は、朝から生憎の雨で、急きよスタートを平山公園、ゴールを穂積神社に変更して実施した。参加選手全員が、持てる力を振り絞りゴールの穂積神社にたどり着いた。上位の結果は以下の通りである。  
(清水雄三)

### 南ア冬山相談所開設 沼平指導センター

南アルプスの冬山相談所が、12月26日から1月3日までの9日間、沼平の指導センターで開設された。県連対協からの要請により、県連から指導員を派遣した。また、警察の山岳救助隊員もその間常駐し、登山者の相談、指導及び天候や雪の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担った。



この期間の沼平からの入山者は、59パーティ(110人)で

茶臼岳・上河内岳方面が28(同)、聖岳・赤石岳方面が21(同)、千枚・荒川岳方面が8(同)、その他が2(同)であった。入山パーティは、昨年より多く、例年茶臼岳・上河内岳方面が多



学校対抗(上位3人のタイム合計)		
男子	1位	浜松日体高校
	2位	富士宮西高校
	3位	富士東高校
女子	1位	富士宮西高校
	2位	富士高校
	3位	浜松北高校

個人男子	1位	富士宮西高校	天野天斗	58分26秒
	2位	浜松日体高校	鈴木光	59分52秒
	3位	日大三島高校	渡邊駿	60分40秒
個人女子	1位	富士宮西高校	阿部萌	69分39秒
	2位	富士宮西高校	篠原みずき	70分51秒
	3位	富士宮西高校	水谷未来	70分52秒
成年男子個人	1位	浜松日体高教諭	鈴木和也	74分53秒